

博士前期課程

看護学研究科博士前期課程 3つのポリシー

看護学研究科博士前期課程では、教育・研究上の理念の達成のため、以下のポリシーを定めている。

【アドミッション・ポリシー】

社会の保健・医療・看護・福祉に対する人々の多様なニーズを認識し、これらのニーズに対応できる高度な看護実践能力、地域社会および国際社会のあらゆる健康レベルの人々のQOLを高められるように社会を変革する能力を有する人々の育成を目指しています。入学者は性・年齢を問わず、また仕事をもつ社会人も受け入れています。

博士前期課程で求める入学者像。

1. 看護学および看護実践への強い関心と問題意識を有している人
2. 専門分野の基礎的知識ならびに実践力を有し、課題探究力、論理的思考を有している人
3. 看護専門職として看護実践・看護学の発展に貢献する意欲を有している人
4. 豊かな感性と人間関係をはぐくむ力を有し、他者と協調しながら主体的に行動できる人

【カリキュラム・ポリシー】

本学看護学研究科博士前期課程においては、看護の発展に貢献する研究を中心に、看護実践・教育・行政における指導者の育成および人々の健康生活に貢献しうる包括的、かつ高度な看護実践ができる看護専門職の育成をめざします。

博士前期課程では修士論文コースと実践看護コースの教育課程を設けております。

修士論文コースは、看護基礎科学分野、看護管理学分野、看護職生涯発達学分野と実践看護学分野 I～VIの専攻分野から編成しています。学際的な立場から広く看護学を学ぶ基盤科目、専門領域における看護をさらに深める主分野専門科目の履修、および自己の研究課題を探究し修士論文を作成することができます。

実践看護コースには、基盤科目に加えて、高度実践看護師を目指す学生のために、日本看護系大学協議会に認定された高度実践看護師教育課程である専門看護師教育課程（38単位）およびナースプラクティショナー教育課程（46単位）を履修することができます。

また、ウーマンズヘルス領域では助産師国家試験の受験資格に必要な科目（31単位）を含む61単位以上の科目を履修することを課しております。

【ディプロマ・ポリシー】

本学博士前期課程では所定の単位を修め、修士論文または課題研究論文を提出し、最終試験において以下の能力が認められたものに、修士(看護学)の学位が授与されます。

1. 修士論文コースでは、看護の専門領域に関して、質の高い高度な看護実践を開発する研究能力を有する。
2. 実践看護コースでは、実践看護分野において、専門的で高度な看護実践能力および指導力を有する。
3. 修士論文コース、実践看護コース、ともに保健医療・看護の場における課題に関して主体的に取り組み、科学的・論理的な分析に基づき検討・提言する能力を有する。

令和7年度 東京女子医科大学大学院 看護学研究科 博士前期課程 看護学専攻
 修士論文コース・実践看護コース 学生募集要項

1. 募集人員

看護学研究科看護学専攻（博士前期課程） 9分野16名（男女共学）

- * [社会人特別選抜]による募集人員若干名を含む。
- * 実践看護学Ⅱ分野（ウーマンズヘルス）の学生定員は7名とする。

2. 受験資格

コース	種別	受験資格
修士論文 コース	一般選抜	下記の1)～5)のいずれかに該当する者。 ※実践看護学Ⅱ（ウーマンズヘルス）を志望する者は、看護師免許を有すること。
	社会人特別選抜	下記のa)～d)の条件をすべて満たし、下記の1)～5)のいずれかに該当する者。
実践看護 コース	一般選抜	看護師免許を有する者で、下記の1)～5)のいずれかに該当する者。
	社会人特別選抜	看護師免許を有する者で、下記のa)～d)の条件をすべて満たし、下記の1)～5)のいずれかに該当する者。

- | |
|--|
| a) 看護師免許を有し、入学時5年以上の看護関連の実務経験を有する者。
b) 入学後も入学前と同一の勤務先内での身分を有する者。
c) 勤務先の所属長の推薦を受けることができる者。
d) 志望した専攻分野に関連する業績を有する者。 |
|--|

- 1) 大学を卒業した者および令和7年3月卒業見込みの者。
- 2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者および令和7年3月までに授与される見込みの者。
- 3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者および令和7年3月までに修了見込みの者。
- 4) 文部科学大臣の指定した者。
- 5) 本学大学院が個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者。

※ 出願資格5)に該当する者は出願期間初日の4週間前までに本学看護学部学務課へ申し出ること。

3. 出願手続

下記の書類を出願期間中に本学看護学部学務課宛に郵送【簡易書留】すること

「郵送のみ受け付け」（出願期間後に到着したものは受け付けない）。

本学所定様式は、本学ホームページからダウンロードし使用すること。パソコンでの入力可。ただし、氏名は自筆とする。手で記入する場合は、黒ボールペンを使用し、丁寧に記入すること。修正する場合は二重線で消すこと。記入漏れがないように記入すること。

1	入学志願票 (本学所定様式)	・写真は、出願3か月以内に撮影した正面、上半身、無帽、背景なしのカラー写真(縦4cm×横3cm)を準備すること。
2	入学検定料振込証 明書添付用紙 受験票 写真票 (本学所定様式)	・受験票・写真票の写真は上記でご準備いただいたものを使用すること。 ・入学検定料は 30,000円 。 入学検定料の振込が完了したことがわかる明細票(コピー可)、振込完了画面等を印刷したもの等を添付して、提出すること。 (提出する明細票に口座番号や残金などが含まれる場合、黒塗りしていただいても差し支えありません) 【振込先】 振込先銀行：三菱UFJ銀行 支店名：きよなみ支店 預金種目：普通 口座番号：1128003 口座名：学校法人東京女子医科大学 (カッポホウジノウキョウダク ヲンイダク イダク) 入学検定料振込期間については、出願期間の約1週間前から締切当日までとする。

3	成績証明書	出身大学(学部)長等が作成し、厳封したもの。(各1部) なお、看護系の短期大学、専修学校等で看護師、保健師、助産師教育を受けた者は、当該校の成績証明書も提出すること。 受験資格2)に該当し、科目等履修制度にて単位を修得した者は、当該校の成績証明書を提出すること。
4	卒業(見込み)証明書	出身大学(学部)長が作成したもの。 なお、受験資格2)に該当する者は、学位授与証明書を提出すること。 ただし、令和7年3月までに授与見込みの者については、学位授与申請受理証明書を提出のこと。また、入学後に学位授与証明書を提出すること。
5	志望理由書 (本学所定様式)	本学所定の用紙を使用し、志望理由1,000字程度記入したもの。
6	受験票返送用封筒 (本学所定様式)	所定の様式に本人宛の住所・氏名を明記し、市販の長形3号封筒の表面に貼付し、速達料を含む切手(344円分)を貼付すること。
7	免許証	看護師、保健師、助産師の免許の写しを提出すること。 (実践看護学Ⅱ分野(ウーマンズヘルス)以外の修士論文コースで一般選抜を除く。)
8	受験資格を証明する書類(該当者)	1) 外国人出願者は、上記の出願書類のほかに、(公財)日本国際教育支援協会が実施する「日本語能力試験(N2以上)」の「認定結果および成績に関する証明書」を提出すること。 2) 出願手続に関する証明書と「入学志願票」の氏名が不一致の場合は、改姓を証明するもの(戸籍抄本等)を添付すること。
9	出願書類提出用宛名シート(本学所定様式)	必要事項を記入し、市販の角形2号封筒に添付し、出願書類一式を封入し出願期間内に「簡易書留」で郵送すること。

【社会人特別選抜】受験者の方は、上記提出書類のほかに、下記の書類も提出すること。

10	研究業績等調書 (本学所定様式)	勤務先におけるこれまでの業績をまとめて記入したもの。
11	研究計画書 (本学所定様式)	専攻する分野における研究計画を記入したもの。(修士論文コースのみ)
12	推薦書・勤務承諾書 (本学所定様式)	勤務先の所属長が記入したもの。推薦書には、現在の業務評価と将来における期待度を記載する。氏名および勤務先所属長名はそれぞれの自筆とする。

注意1) 健康診断書は出願時には不要。ただし、本入学試験合格者に対して入学手続の際に健康診断書(本学所定の用紙)の提出を要する。身体障害等により受験上および修学上特別な配慮を必要とする場合は、各試験出願期間初日の4週間前までに本学看護学部学務課に連絡し、相談すること。

注意2) 提出された書類および検定料は、いかなる場合でも返却しない。

4. 出願期間

第1期 令和6年 7月16日(火) から令和6年 7月26日(金) 必着

第2期 令和6年12月17日(火) から令和7年 1月 7日(火) 必着

*出願前に、必ず当該領域の指導教員と、今後の研究・教育内容について相談すること。

希望コース・領域名・名前・連絡先等明記した電子メールを graduate.bk@twmu.ac.jp宛に送信すること。

コース	分野	領域	指導教員
論文コース	看護基礎科学	食看護学・基礎看護学	見城 道子 教授
	看護管理学	看護管理学	駒形 朋子准教授
	看護職生涯発達学	看護職生涯発達学	吉武久美子 教授
実践看護コース	実践看護学Ⅰ	クリティカルケア看護学・がん看護学	町田 貴絵 教授
	実践看護学Ⅱ	ウーマンズヘルス	小川久貴子 教授
	実践看護学Ⅲ	老年看護学	坂東美知代准教授
		エンドオブライフケア学	
	実践看護学Ⅳ	精神看護学	濱田 由紀 教授
	実践看護学Ⅴ	地域看護学	清水 洋子 教授
実践看護学Ⅵ	小児看護学	青木 雅子 教授	

*領域によっては募集しない場合もある。

5. 試験期日

第1期 令和6年 8月 2日 (金)
 第2期 令和7年 1月15日 (水)

*自然災害や人為災害、感染症の全国的な拡大など不測の事態により、遅刻または受験が困難となり所定の試験を受験できなかった者に対する追試験は、本学で定められた所定の手続きに則り、実施するものとする。追試験の受付は、試験当日、8時～10時の間のみ、入試本部で電話のみ受付する。この他の日時では追試験の受付はしない。追試験の対象者であると判断された場合、以下の日時に追試験を行う。追加受験料は徴収しないものとする。

第1期に於ける追加試験日：令和7年 1月15日 (水)
 第2期に於ける追加試験日：令和7年 2月 6日 (木)

6. 試験場

東京女子医科大学看護学研究科 彌生記念教育棟

7. 選抜方法

1) 選抜の方法

英語、専攻する分野の専門科目、小論文、面接、出願書類等の内容を総合して判定する。

2) 学力試験等

月日	時間	9:50～10:00	10:00～11:00	11:20～12:20	13:20～14:20	14:30～
第1期 令和6年 8月 2日(金)						
第2期 令和7年 1月15日(水)		諸注意	英語	専門科目	小論文	面接
追試験 令和7年 2月 6日(木)						

*受付は9：30～です。9：50までには受験会場に着席していること。

*英語の試験については、辞書の持ち込みは1冊を可とする（ただし、電子辞書は不可）。

*受験票を忘れた場合は、その旨を受付に申し出て受験票の再発行を受けること。

*試験開始後20分以上の遅刻者には受験を許可しない。

*選抜方法は、感染拡大等の状況に応じて変更する場合があります。

8. 合格発表

第1期 令和6年 8月 9日 (金) 午後3時に本学看護学研究科 ホームページ上に掲載する。

第2期 令和7年 1月22日 (水) 午後3時に本学看護学研究科 ホームページ上に掲載する。

追試験 令和7年 2月 7日 (金) 午後3時に本学看護学研究科 ホームページ上に掲載する。

*合格発表を掲載するとともに、本人宛に通知書を発送する。

(注意) 合格発表に関するの電話による照会には応じることはできない。

9. 入学手続期間

第1期 令和6年 8月13日 (火) より令和6年 8月28日 (水) 午後4時まで (必着)

第2期 令和7年 1月23日 (木) より令和7年 2月12日 (水) 午後4時まで (必着)

追試験 令和7年 2月10日 (月) より令和7年 2月21日 (金) 午後4時まで (必着)

10. 入学に必要な学費

入 学 金	300,000円 (初年度のみ)
授 業 料 (年額)	900,000円
教育運営費 (年額)	300,000円
合 計	1,500,000円

*注意

1) 本学部（本学短期大学・看護専門学校は除く）卒業者の入学金は200,000円とする。

2) 入学手続終了後、**令和7年3月31日 (月) 午後4時まで**に入学を辞退した場合は、届出により入学金相当額を控除した納入金を返還する。なお、一度提出された「入学辞退届」（合格書類に同封）はいかなる理由があろうとも取り消すことはできない。

11. 奨学金制度など

日本学生支援機構奨学金、東京都看護師等修学資金など各種奨学金制度がある。
教育訓練給付制度の対象講座である。

12. 個人情報の取り扱いについて

出願および入学手続きにあたって提出していただいた個人情報は、入学試験の実施・合格発表から入学手続、および入学後の修学指導・支援等、大学が必要と判断した事項を行うために利用する。これらの業務の一部を、東京女子医科大学が指定した業者に委託することがある。予めご了承ください。

13. その他

自然災害や人為災害、感染症の全国的な拡大等の不測の事態により、募集要項に記載されている選抜方法等を見直すことがある。変更がある場合には、大学ホームページにて通知する。

14. お問い合わせ

〒162-8666 東京都新宿区河田町8番1号
東京女子医科大学 看護学部学務課
03(3357)4801

graduate.bk@twmu.ac.jp

事務取扱時間 平日9：00～17：00／土曜9：00～13：00

以上